

2014年 11月 平成26年

霜月 November



阿蘇の春に野焼きをした草原で見つけました。日本の代表的な民間薬のゲンノショウコ（現の証拠）（フウロソウ科）です。果実が弾けると神輿の屋根のようになるので「神輿草」ともいわれます。成分として加水分解型タンニンを含み、その作用により整腸薬として下痢止めなどに用います。9月～10月の天気の良い草原などで開花した花を見ることが出来ます。九州は赤花ですが、関西以东は白花で、薬効が変わりはありません。果実には100個位に種子が入っており、熟すとハウセンカのように弾けて周りに種子を飛ばします。植物は動けない分賢いですね。ルーペで見ると面白いものを発見します。

Sa	Su	M	Tu	W	Th	F	Sa	Su	M	Tu	W	Th	F	Sa	Su	M	Tu	W	Th	F	Sa	Su	Mn	Tu	W	Th	F	Sa	Su
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30